

緊急県民世論調査

「子どもたちと犯罪」

報告書

(平成15年7月29日～9月8日実施)

調査の設計	1
結果の概要	4
単純集計	5
調査票	7



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# 調査の設計

## 調査の目的

今年7月初め、沖縄で中学2年の男子生徒らによる友人殺害事件が発生し、少年犯罪の低年齢化をうけて、下限14歳まで引き下げられた刑事罰の初の適用対象となるか注目された。そして、長崎市で中学1年の男子生徒の園児殺害事件、さらに東京では小学6年の女子児童4人が監禁され、犯人自殺の末に危うく保護される事件が相次ぎ、その衝撃が続いた。

戦後体制が半世紀を経過し、政治、経済、社会の全般にわたって、その枠組みが問い直されているなかで、いま次世代の子供たちに起きている事態はいったい、どのように位置づけられることなのだろうか - 大人たちの側の反応は多様に分かれ、大きな戸惑いの中で足踏みしているのが実情だ。

問題解決の方向を見出すには、時間をかけなければならないだろうが、とりあえず県民各層がこの事態をどのように受けとめているのか、緊急世論調査で探る。

## 調査の設計

### 調査対象

長野県内に住む20歳以上の男女1,000人

### 抽出方法

選挙人名簿から一定の間隔で抽出

調査方法 郵送

調査期間 2003年7月29日～9月8日

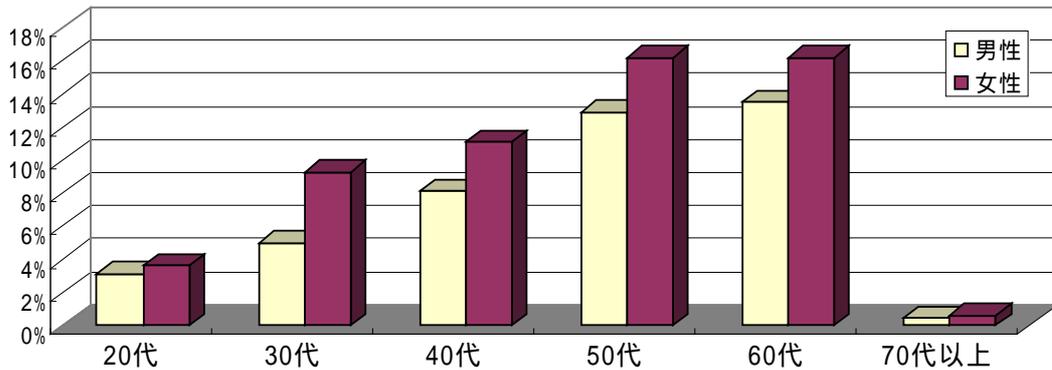
回収結果 有効回収数505人(50.5%)

調査実施 社団法人長野県世論調査協会

# サンプル内訳

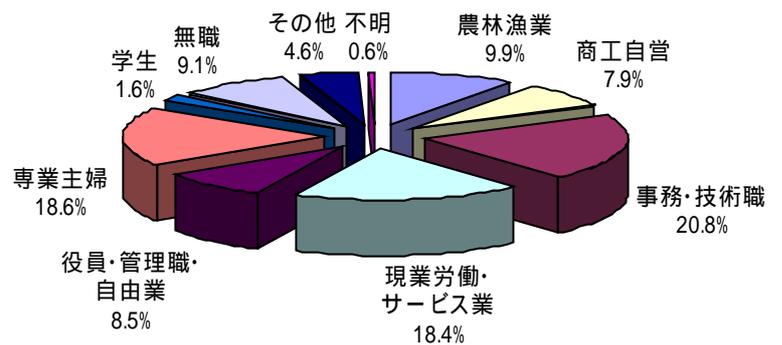
## 【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	505	34	72	97	147	150	5
	100.0%	6.7%	14.3%	19.2%	29.1%	29.7%	1.0%
男性	217	16	25	41	65	68	2
	43.0%	3.1%	5.0%	8.1%	12.9%	13.5%	0.4%
女性	288	18	47	56	82	82	3
	57.0%	3.6%	9.3%	11.1%	16.2%	16.2%	0.6%



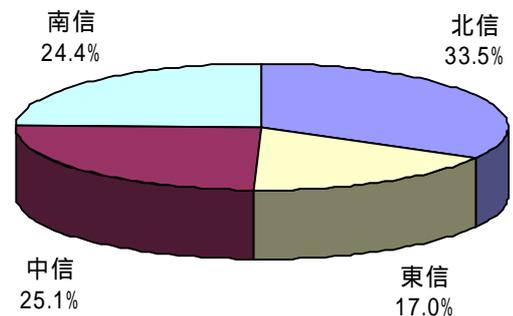
## 【職業】

農林漁業	50	9.9%
商工自営	40	7.9%
事務・技術職	105	20.8%
現業労働・サービス業	93	18.4%
役員・管理職・自由業	43	8.5%
専業主婦	94	18.6%
学生	8	1.6%
無職	46	9.1%
その他	23	4.6%
不明	3	0.6%



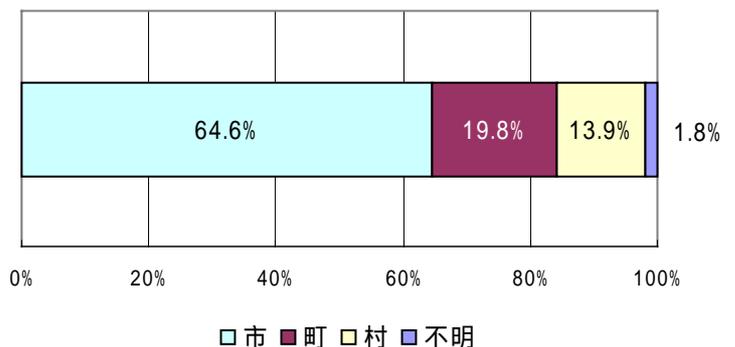
## 【居住地域】

北信	169	33.5%
東信	86	17.0%
中信	127	25.1%
南信	123	24.4%



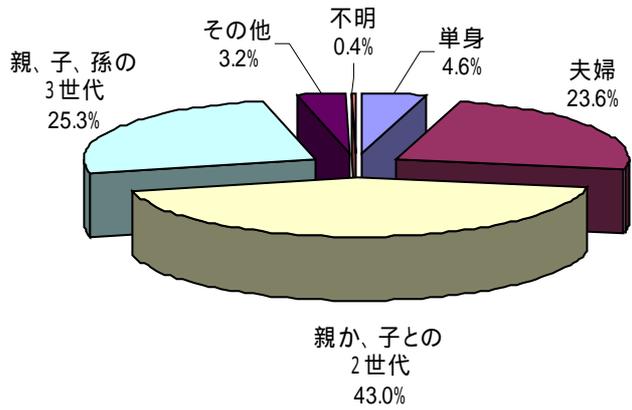
## 【市町村】

市	326	64.6%
町	100	19.8%
村	70	13.9%
不明	9	1.8%



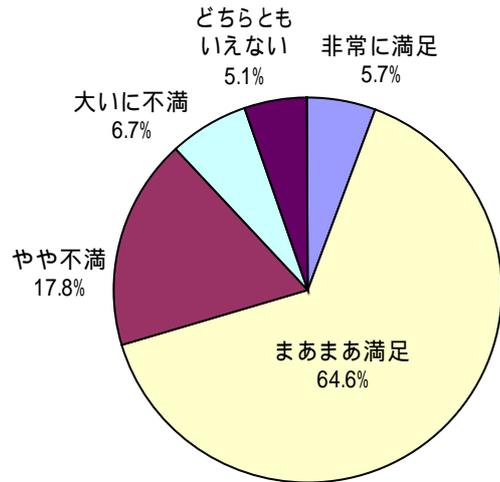
【家族構成】

単身	23	4.6%
夫婦	119	23.6%
親か、子との2世代	217	43.0%
親、子、孫の3世代	128	25.3%
その他	16	3.2%
不明	2	0.4%



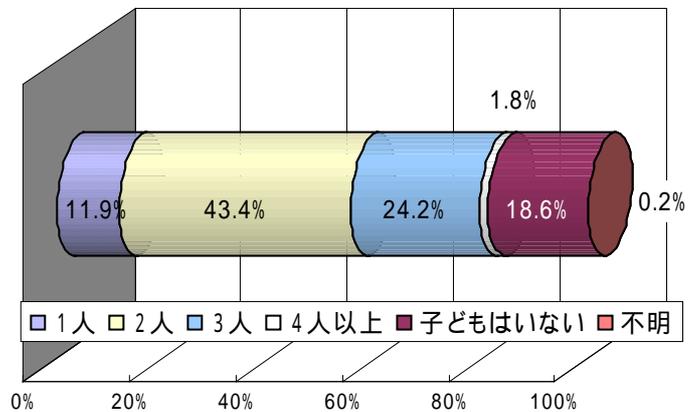
【暮らし満足度】

非常に満足	29	5.7%
まあまあ満足	326	64.6%
やや不満	90	17.8%
大いに不満	34	6.7%
どちらともいえない	26	5.1%



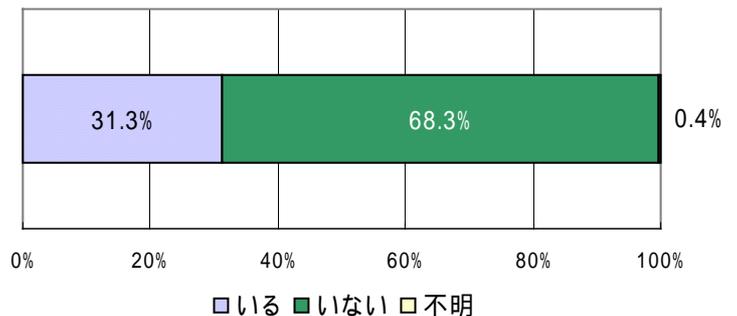
【子どもの数】

1人	60	11.9%
2人	219	43.4%
3人	122	24.2%
4人以上	9	1.8%
子どもはいない	94	18.6%
不明	1	0.2%



【同居の子ども】

いる	158	31.3%
いない	345	68.3%
不明	2	0.4%



注 数表・グラフの%数字は小数点二位で四捨五入。合計は100にならない場合もある = 以下同じ

## 結果の概要

小学・中学生の絡む重大犯罪が続発する状況に、深刻な反応が現れた。法的な対応策にはそれがストレートに反映され、刑事罰の強化、法適用の年齢引き下げ、加害者の実名公表のいずれでも“強硬路線”が多数を占めた。

犯罪に関わる子どもの環境について「家庭やおとなたち」に問題があるという受けとめが筆頭に挙げられ、日ごろの家庭生活の面でも、個室や携帯電話を与えることに批判的な受けとめがめだった。

社会的な防止の取りくみのために、地域の役割に期待するが多くを占めたが、学校への期待はあまり強くは出ていない。

### 子どもたちを取り巻く環境の問題

「たいへん深刻なことだ」という受けとめだけでも9割に迫り、おとなたちの危機感が直截的に現れた。そのなかで、問題がある社会的な環境として「家庭や親たち」がトップ、次いで「社会やおとなたち」がかなり高い度合いで上位に続く。

「マスコミ」と「交遊・友だち」の影響力への懸念も結構高めに出ており「学校や教師たち」は、それよりも低位におかれた。

### 子どもへの刑事罰

子どもからみの犯罪防止のために、刑事罰を強めることで「効果が期待できる」が47%、「効果は疑問だ」は37%だった。

こうした強い姿勢は、法律の適用年齢についても「(現行の)14歳よりもっと下げる」が半数近くにのぼる結果に端的に示された。「現在の14歳以上でよい」は3割に届かず、大きな開きが生じた。

加害者の実名公表についても「賛成」38%、「反対」25%という色分けで、対応の強硬さが連動している。

### 個室と携帯電話

子どもたちの物質的な環境として、まず個室の与え方には「好ましくない」が半数に達し「好ましい」の倍以上にのぼった。

また、携帯電話については「好ましくない」がさらに伸びて7割近くに達し「好ましい」は1割にも届かず、拒否感が強く押し出された。

### 地域と学校の犯罪防止の役割

地域の役割に対して「期待できる」が4割を超え「期待できない」に差をつけた半面で、学校については「期待できない」が4割を突破し、両者への期待感が分かれた。

## 単純集計

### 「たいへん深刻」だけで9割に迫る

問1 あなたは、小学・中学生の子どもたちが絡んだ犯罪が最近増えていることを、どのように受けとめていますか		
たいへん深刻なことだ	448	88.7%
どちらかといえば深刻なことだ	45	8.9%
そんなに深刻なことではない	5	1.0%
まったく深刻なことではない	1	0.2%
なんともいえない・わからない	5	1.0%
不明	1	0.2%

### 問題は「家庭や親に」トップ 続く「社会やおとな」

問2 あなたは、子どもたちが関係する犯罪が増えている背景として、本人たちを取り巻く環境のどこに問題があるからだと思いますか(2つ以内)		
家庭や親たち	352	69.7%
社会やおとなたち	282	55.8%
マスコミ	114	22.6%
交遊・友だち	104	20.6%
インターネット	64	12.7%
学校や教師たち	49	9.7%
その他	15	3.0%
特になし	1	0.2%
なんともいえない・わからない	4	0.8%
不明	2	0.4%

### 刑事罰の強化「効果が期待できる」47%

問3 あなたは、犯罪を犯した子どもたちの刑事罰と犯罪の防止について、どのように思いますか		
A 刑事罰を強める		
効果が期待できる	235	46.5%
効果は疑問だ	185	36.6%
なんともいえない・わからない	82	16.2%
不明	3	0.6%

### 法の適用年齢「現行の14歳より引き下げ」約半数

B 適用の年齢		
14歳よりもっと下げるのがよい	245	48.5%
現在の14歳以上でよい	140	27.7%
2年前までの16歳以上でよかった	21	4.2%
その他	22	4.4%
なんともいえない・わからない	72	14.3%
不明	5	1.0%

## 加害者の実名公表「賛成」38% 「なんともいえない」36%

C 加害者の実名公表		
賛成	192	38.0%
反対	126	25.0%
なんともいえない・わからない	180	35.6%
不明	7	1.4%

## 個室「好ましくない」50% 「好ましい」はその半数以下

問4 あなたは、子どもたちを育てる環境や、物の与え方について、どのように思いますか		
A 個室		
好ましい	113	22.4%
好ましくない	253	50.1%
なんともいえない・わからない	137	27.1%
不明	2	0.4%

## 携帯電話「好ましくない」7割に迫る

B 携帯電話		
好ましい	35	6.9%
好ましくない	348	68.9%
なんともいえない・わからない	120	23.8%
不明	2	0.4%

## 地域に「期待できる」が優勢

問5 あなたは、子どもたちが絡む犯罪を防止するのに、地域や学校の役割について、どう思いますか		
A 地域		
期待できる	211	41.8%
期待できない	168	33.3%
なんともいえない・わからない	124	24.6%
不明	2	0.4%

## 学校には「期待できない」が上回り4割台

B 学校		
期待できる	173	34.3%
期待できない	210	41.6%
なんともいえない・わからない	120	23.8%
不明	2	0.4%

## 調査票

問1 あなたは、小学・中学生の子どもたち（以下の質問では「子どもたち」と略記）が絡んだ犯罪が最近増えていることを、どのように受けとめていますか。

たいへん深刻なことだ	まったく深刻なことではない
どちらかといえば深刻なことだ	なんともいえない・わからない
そんなに深刻なことではない	

問2 あなたは、子どもたちが関係する犯罪が増えている背景として、本人たちを取り巻く環境のどこに問題があるからだと思いますか。2つに絞ってお答えください。

社会やおとなたち	インターネット
家庭や親たち	その他
学校や教師たち	( )
交遊・友だち	特にない
マスコミ	なんともいえない・わからない



問3 あなたは、犯罪を犯した子どもたちの刑事罰と犯罪の防止について、以下のことについては、どのように思いますか。

A 刑事罰を強める		
効果が期待できる		なんともいえない・わからない
効果は疑問だ		
B 適用の年齢		
現在の14歳以上でよい		その他
2年前までの16歳以上でよかった		( )
14歳よりもっと下げるのがよい		なんともいえない・わからない
C 加害者の実名公表		
賛成	反対	なんともいえない・わからない




問4 あなたは、子どもたちを育てる環境や、物の与え方について、どのように思いますか。

A 個室			
好ましい	好ましくない		なんともいえない・わからない
B 携帯電話			
好ましい	好ましくない		なんともいえない・わからない



問5 あなたは、子どもたちが絡む犯罪を防止するのに、地域や学校の役割について、どう思いますか。

A 地域			
期待できる	期待できない		なんともいえない・わからない
B 学校			
期待できる	期待できない		なんともいえない・わからない



問6 あなたは、お子さんを何人お持ちですか。

1人	3人	子どもはいない
2人	4人以上	

問7 あなたは、同居の小学・中学生のお子さん・きょうだい、あるいはお孫さんがいますか。

いる	いない
----	-----

F 1	性別	男性	女性	<input type="checkbox"/>		
F 2	年代	20代 30代 40代	50代 60代 70代以上	<input type="checkbox"/>		
F 3	職業	農林漁業 商工自営 事務・技術職 現業労働・サービス職 役員・管理職・自由業	専業主婦 学生 無職 その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
F 4	居住地域	北信	東信	中信	南信	<input type="checkbox"/>
F 5	居住市町村	( )市 ( )町 ( )村 ( )内に市町村名をお書きください。			<input type="checkbox"/>	
F 6	家族構成	単身 夫婦 親(義父母を含む)か、子との2世代	親、子、孫の3世代 その他( )	<input type="checkbox"/>		
F 7	あなたが同居していない子ども・孫や父母、祖父母は、同じ市町村内に住んでいますか。	だれかは住んでいる だれも住んでいない			<input type="checkbox"/>	
F 8	あなたは長男・長女ですか。	長男	長女	どちらでもない	<input type="checkbox"/>	
F 9	暮らし満足度	非常に満足 まあまあ満足 やや不満	大いに不満 どちらともいえない	<input type="checkbox"/>		